



研究テーマ

- 1 揺動刺激が重症心身障害児の自律神経活動と情動と筋緊張に与える影響につ
- 2 肢体不自由児の主体性の育成を促すためのCO-OPアプローチの授業への導入
- 3 タイの重症心身障害児に対して座位保持椅子を用いた際の身体への影響の調

研究概要

私はリハビリテーション領域と連携した肢体不自由児教育について研究しています。具体的には、揺動刺激が子どもの身体に及ぼす影響や、作業療法分野で用いられるアプローチ法を授業へ導入すること、タイの子どもに座位保持椅子を作成し身体への影響をみる研究活動をしています。

尾崎 充希

おざき みつき
教育学部
教育臨床心理

講師

キーワード

特別支援教育, 肢体不自由,
リハビリテーション

特許情報・
共同研究・
応用分野など

- 1 揺動刺激が重症心身障害児の自律神経活動と情動と筋緊張に与える影響について
重症心身障害児に揺れる刺激(揺動刺激)を与えることによって、自律神経活動や情動、筋緊張にどのような影響があるのかについて研究しています。
- 2 肢体不自由児の主体性の育成を促すためのCO-OPアプローチの授業への導入
肢体不自由児の主体性を育成するために、作業療法分野で用いられているCO-OPアプローチを授業で実践し、どのような効果が得られるかについて検証しています。
- 3 タイの重症心身障害児に対して座位保持椅子を用いた際の身体への影響の調査
タイにいる重症心身障害児に対して、強化段ボールを使って座位保持椅子を作り、それが身体機能に及ぼす影響について調査しています。

ホームページ

技術相談に応じられる関連分野

メッセージ